代表質問　区政を

本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます
http://www.gikai-adachi.jp

用語解説
＊躯体（くたい）…建築物の基礎・柱・壁・床等、構造の主要部分のこと

【足立福祉】①平成31年1月末現在539世帯で、リバースモーゲージを利用できる65歳以上の世帯は44世帯である。
②保有資産の活用を積極的に進め、今後も利用促進に取り組む。

児童生徒を熱中症から守れ

【問】①学校体育館のエアコンは何年間で全校設置するのか。
②モデル3校による検証で課題が明らかになった場合の対応と、その際のスケジュールを伺う。

【学校運営】①国や都の財政支援制度が最大限活用できる2021年度までの3年間で、設置が完了する計画を策定していく。
②機器の増設等を実施し、計画に反映していく。＊躯体に係る工事が無ければ、スケジュール変更せずに設置が可能である。

産み、育てやすい環境づくりを

【問】①既存物件を活用した家庭的な保育を実現できる小規模保育の整備充実を図るべきだがどうか。
②待機児童の大半を占める0歳から2歳の育児環境整備をどのように進めていくのか。
③都は、幼稚園に対する国の補助と都内平均保育料の差額を補助するとした。区は、都内と区内の平均保育料の差額をどう考えているのか。
④区は、幼稚園の預かり保育の充実には、資格を持った職員採用が課題としているが、具体的な支援策について伺う。

【待機児】①小規模保育等の選定を行い、2020年4月までに120人定員拡大を計画している。
②妊娠届出時の意向調査や、保育ニーズ調査結果に加え、待機児童の状況を詳細に分析したうえで、区待機児童解消アクション・プランを改定していく。

【子ども】③都内と区内の保育料に500円程度の差があるため、補助するかどうか、9月の議会に間に合うように検討していく。
④保育園の保育士を対象に実施している住居借上げ支援、奨学金返済支援と同等の補助を平成31年度予算案に計上した。

足立区議会公明党

全世代型社会保障の充実を目指して！

公明党　前野和男　議員

冷暖房設置のスケジュールは

【問】小・中学校体育館の冷暖房設備の設置について、都は、本年夏頃までに整備計画の策定を要件とし、3年間の期間限定で補助率を2分の1から3分の2へと引き上げた。整備を進める上で国や都等の財政支援の確保は必要不可欠であるが、今後のスケジュールについて伺う。

【学校運営】国や都の財政支援制度が最大限活用できる2021年度までの3年間で設置が完了できるよう計画を策定する。

まちづくりの基本方針を早急に策定し区民及び事業者に説明を

【問】綾瀬駅東口の空き地については、事業者から「土地のあり方や活用について白紙にする」との申し入れがあり、地元住民から不安の声が上がっている。区は早急に綾瀬駅前通り周辺まちづくりの基本方針を策定し、区民及び事業者に説明をすべきと思うが伺う。

【政策経営】まずは開発事業者に対して、駅前の暫定利用について早急に要望するとともに、今後、「駅前の顔づくりと賑わいの創出」「歩行空間の安全性と回遊性の向上」「区有地を活用した賑わい拠点の形成」「高架下の利便性改善」の4つを柱として、地域の意見を伺いながら2019年秋を目途にこの要望を取りまとめ、説明していく。
　また、区民への説明については、まちづくり協議会、町会・自治会連合会及びしょうぶまつり等のイベントを通じて広く周知していく。

六町エリアならではの防犯活動を継続する仕組みを図れ

【問】安全安心ステーションについては、施設整備とともにエリアならではの防犯活動を継続していく仕組みづくりが重要であると思う。区は、地域の声を活かしどのように取り組もうとしているのか。

【危機管理】平成31年度の早期に町会・自治会、商店街、PTA等で組織する（仮称）サポーターズクラブを設立し、防犯パトロール等、ステーションにおける活動内容等の検討に着手したいと考えている。

西新井・梅島エリアの施設更新の検討状況は

【問】新年度予算のあらましに「公有地の活用による周辺施設の更新を検討」とあるが、どのような施設を検討しているのか。
　また、検討の際には梅田図書館を入れるべきと思うがどうか。

【政策経営】老朽化が進む梅田図書館を中心に、障がい福祉センターあしすと、子ども支援センターげんき、地域包括支援センター及びエル・ソフィア等を対象に、利用状況や課題の洗い出しを行っている段階である。

足元を照らし夜間の安全を守れ

【問】閑静な住宅街が広がる地域の区道や遊歩道では、他の歩行者が少ないため、夜間の一人歩きに不安の声もある。足元を照らす照明等、街路灯と相乗効果のある安全対策も地域によっては必要と考えるがどうか。

【道路整備】現在、区道においては、概ね防犯灯照度基準を満たしているが、閑静な住宅街が広がる地域等については、夜間の一人歩きの不安を解消するため、どのような安全対策が講じられるか検討していく。

教員の勤務実態の把握を

【問】小・中学校で土日勤務している教員の人数や時間等の現状はどうか。
　また、残業時間が月100時間を超える長時間労働となっている教員の実態はどうか。

【学校運営】教員の勤務実態を正確には把握していないが、平成29年度に区内3校も対象となった都の調査結果で、土曜日の平均在校時間は、小学校が約2時間、中学校が約6時間、日曜日は小学校が1時間、中学校が2時間半であった。
　また、月当たりの時間外労働時間が100時間を超えるデータはないが、過労死ラインの80時間を超える教員の割合は小学校約37％、中学校約68％であった。
　平成31年度の早期にカードリーダー方式による出退勤システムを導入し、長時間勤務に対する意識改革を促していく。

IT機器により連携の円滑化を

【問】地域包括ケアシステム構築のための重要な取り組みの一つに、医療と介護の連携がある。多職種連携は書類のやり取りが多く、煩雑でスピード感に課題がある。タブレット等を使った連携を、まずはモデルとして梅田地区で行ってはどうか。
　また、取り組みのスケジュールも併せて伺う。

【福祉】梅田地区の医療、介護従事者等で構成されるモデル事業の検討委員会からも、ICTを活用した多職種間連携の提案があり、現在検討を進めている。
　スケジュールについては、4月からどのようなソフトや機器が有効かを検討し、できるだけ速やかに取り組んでいく。

愛の手帳4度の方への障がい者福祉手当の支給は

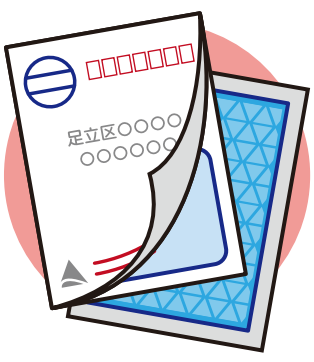
【問】23区のほとんどの区で愛の手帳4度の方には障がい者福祉手当が支給されており、当区においても支給すべきと我が党は本会議で質問した。平成31年度の予算案への反映内容と支給スケジュールについて伺う。

【福祉】愛の手帳4度の手帳所持者に対し、月額4千円を支給し、総額1億800万円を計上した。
　また、スケジュールについては、4月上旬に、対象者宛てに申請案内を個別郵送するとともに、4月10日号のあだち広報及びホームページで周知する。手当の支給は年3回とし、1回目は8月を予定している。

がん検診再勧奨は目立つ工夫を

【問】昨年9月に実施した圧着ハガキによる乳がん検診の再勧奨で、前年度に比べて受診者が1・15倍に増加した。今後も2年ごとに行う勧奨の際には、大きなサイズの圧着ハガキを活用する等、見てもらえる様々な工夫も必要と考えるがどうか。

【衛生】大きなサイズの用紙を用いる等、改善を図っていく。



報奨金値上げの進捗状況は

【問】集団回収モデル事業は、我が党が事業の再考を提案し、区としても「モデル回収を撤退

政策経営、貧困対策（＝子どもの貧困対策担当）、総務、危機管理、資産管理、区民、地域（＝地域のちから推進）、産業経済、福祉、衛生、環境、都市建設、教育指導、学校運営、子ども（＝子ども家庭）…各部長